ninoyu satoshi
発行所：みんなで政治を考える会
〒615-0062 京都市右京区西院坤町2
ハウスドゥ四条ビル601
TEL.075-315-2228 FAX.075-315-2310
発行人：二ノ湯 智
国会事務所
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館921号室
TEL.03-6550-0921 FAX.03-6551-0921

えとす(Ethos)とは、文化や習慣を意味し、豊かな精神をはぐくみ、平和を希望する言葉です。　題字：栢木寛照

年間購読料 1,200円(一部100円)
第3種郵便物認可 平成2年1月18日
口 座 01000-4-62360

えとす

平成23年 No.232 3月号

京都の智恵を日本に活かす。

二ノ湯智ホームページ http://www.ninoyusatoshi.com

民主党に厳しい世論
自民党、府会・京都市会で第1党なるか

政権交代後、初の統一地方選挙

民主党マニフェストの実現性について自民党はじめ、野党から厳しい質問が相次いでいる。菅首相はじめ閣僚の答弁は正直なところ、終始言い訳の繰り返しである。挙句の果てに「子ども手当」の2万6千円を支給するといった小沢幹事長の発言に驚いたなどと他人事のような答弁をした。民主党には国を運営する責任感、使命感が感じられない。ここに来て、多くの国民は民主党内閣の無責任さに気づき始めた。最近の世論調査で、菅政権の支持率は急落、危険水域と言われる20%を切った。民主党に対する支持率も自民党を下回り、低迷している。日本のためには民主党政権の一刻も早い退陣が望ましいという声が大きくなっている。その最中での統一地方選挙である。自民党に追い風が吹いているが、京都府会、京都市会で第一党の座を維持できるか、注目される。さる5日、自民党京都府連は約千人の党員、党友が参加して、統一選挙の勝利を期して総決起大会を開いた。

自民党総決起大会で開会挨拶する二ノ湯京都府連会長

恒心

★京大で入試不正問題が起こった。人間の悪知恵には際限がない。携帯電話を上手く使いこなせない私には想像も出来ない巧妙なやり口であり、神業に近い。まるでスパイ映画でも見るようなIT時代の新しい犯罪である。★事件が発覚した時、一人では出来ないだろう、複数の共犯者がいるのではないかと思っていたが、どうやら学生1人の単独犯らしい。京大の入試前に、いくつかの私立大学で予行演習を行い、上手くいったために本命の京大で実行したのが真相のようである。★何故彼はそんな不正行為をしてまで京大にこだわったのか。京大というブランドにあこがれたのか、京大でしか自分の好きな学問が出来ないのか。それとも親をはじめ、周囲の期待が大きくて、何が何でも有名大学に入らなければならない重圧があったのか。★私は高校、大学の受験の時を思い出した。いい大学に行きたい、親も期待している。不合格になったらどうしようと、不安な気持ちに襲われたこともある。受験に落ちたら世の中が真っ暗になるのではないかという心境も理解できる。世間でいう有名大学に入れたらこれに越したことはない。しかし、人生の勝負は社会に出てからである。★今私は66才である。幸いに健康に恵まれまだ現役で働いている。大学の良し悪しによって少しは人生が影響されるかも知れないが、人生の最後の決め手は健康である。最後の勝者は長生きした者であると或る人が言っていた。この年になってつくづく思う。東大、京大の卒業証書よりもどこも異常なしの人間ドックの診断書の方がずっと有難い。

政権交代しても地方政治は自民党
堅持したい府会、京都市会の第１党

4年に一度の統一地方選挙は目前に迫っている。知事選挙は24日に告示、都道府県会議員、政令市会議員選挙は4月1日に告示され、いずれも4月10日に投票が行われる。一昨年9月、自民党から民主党に政権が交代したが、都道府県会議員はじめ全国の市町村会議員は圧倒的に自民党及び保守系の議員が多い。来るべき統一選挙でこの勢力地図に変化が起きるのか。昨年夏の参議院選挙で、自民党は51議席を獲得、改選第一党の座を占めた。この勢いを駆（か）って、統一選挙でも勝利して、予想される衆議院選挙での政権奪還の弾みにしたい。自民党京都府連では、昨年9月から統一選挙勝利を目指して、立候補予定者選考に取り組んできた。府会では亀岡市を除いて、各選挙区に27名、京都市会は24名の公認候補が出馬の予定である。政権交代後、初の大型地方選挙で有権者がどのような審判を下すのか大変注目される。民主党の内紛、菅政権のもたつきで自民党に追い風が吹いているとはいえ選挙は油断大敵であり、しかもどの選挙区も少数激戦の厳しい情勢である。京都府政、京都市政で自民党が主導権を維持するためにも、府会、京都市会で第1党の座を死守しなければならない。

統一地方選挙　公認候補者

4月1日告示　4月10日投票

【府議会議員】

〔山科区〕
菅谷寛志・現(50)

〔東山区〕
荒巻隆三・現(38)

〔中京区〕
植田喜裕・現(61)

〔左京区〕
石田宗久・現(44)

〔上京区〕
林田　洋・現(63)

〔北区〕
田坂幾太・現(59)

〔伏見区〕
前波健史・現(59)

〔西京区〕
近藤永太郎・現(61)

〔右京区〕
岡本　薫・新(39)

〔右京区〕
二ノ湯真士・現(32)

〔南区〕
秋田公司・現(57)

〔下京区〕
小巻實司・現(70)

〔宮津市・与謝郡〕
多賀久雄・現(60)

〔宇治市・久世郡〕
村田正治・現(62)

〔綾部市〕
四方源太郎・新(37)

〔舞鶴市〕
池田正義・新(56)

〔福知山市〕
井上重典・新(64)

〔伏見区〕
渡辺邦子・現(53)

〔京丹後市〕
巽　昭・現(56)

〔京田辺市・綴喜郡〕
尾形　賢・現(30)

〔八幡市〕
中川貴由・現(53)

〔長岡京市・乙訓郡〕
能勢昌博・新(45)

〔向日市〕
安田　守・現(46)

〔城陽市〕
奥田敏晴・現(65)

写真の下段は
候補者名・現職、元職、新人の別・年齢（告示日現在）です。

〔木津川市・相楽郡〕
兎本和久・新(53)

〔木津川市・相楽郡〕
島田正則・現(61)

〔南丹市・船井郡〕
片山誠治・現(50)

【京都市会議員】

〔左京区〕
桜井泰広・新(47)

〔左京区〕
大西　均・現(60)

〔上京区〕
寺田一博・現(45)

〔上京区〕
中村三之助・現(58)

〔北区〕
山本恵一・現(57)

〔北区〕
小林正明・現(63)

〔山科区〕
吉井あきら・現(44)

〔山科区〕
富きくお・現(59)

〔東山区〕
内海貴夫・現(67)

〔中京区〕
津田大三・現(41)

〔中京区〕
加藤盛司・現(59)

〔左京区〕
巻野友彦・新(33)

〔右京区〕
山元あき.・現(36)

〔右京区〕
田中英之・現(40)

〔右京区〕
井上与一郎・現(66)

〔南区〕
島本京司・新(45)

〔南区〕
椋田隆知・新(46)

〔下京区〕
下村あきら・現(62)

〔伏見区〕
中川一雄・元(68)

〔伏見区〕
橋村芳和・現(49)

〔伏見区〕
繁　隆夫・現(64)

〔伏見区〕
高橋泰一朗・現(72)

〔西京区〕
西村義直・現(42)

〔西京区〕
田中明秀・現(49)

統一地方選挙　公認・推薦候補者

4月17日告示、4月24日投票

〔宇治市議〕公認
金ヶ崎秀明・新(40)

〔宇治市議〕公認
久保田幹彦・元(59)

〔宇治市議〕公認
堀　明人・現(47)

〔宇治市議〕公認
坂下弘親・現(69)

〔福知山市議〕公認
和田　久・現(61)

〔向日市長〕推薦
久嶋　務・現(55)

〔八幡市議〕公認
橋本宗之・現(72)

〔城陽市議〕推薦
村田圭一郎・新(37)

〔城陽市議〕推薦
園崎弘道・現(31)

〔城陽市議〕推薦
阪部晃啓・現(43)

〔城陽市議〕公認
太田健司・現(33)

〔宇治市議〕推薦
川越　清・現(68)

4月19日告示、4月24日投票

〔久御山町議〕推薦
林　勉・現(62)

〔久御山町議〕推薦
中井孝紀・現(44)

〔八幡市議〕推薦
横須賀昭男・現(60)

〔八幡市議〕公認
山田芳彦・元(49)

〔八幡市議〕公認
増尾辰一・現(64)

〔木津川市議〕公認
尾﨑輝雄・現(63)

〔京田辺市議〕公認
喜多　進・現(67)

今期で惜しまれて勇退する議員
府政、京都市政に大きな貢献

政権交代後、自民党府連は府会、京都市会議員選挙の候補者を選考する際、「現職優先」の考え方を大切にしつつも、党のイメージアップと人材育成を図るうえで、投票日における年令が70才未満とする。ただし、現職に代わる候補者が見当らず心身ともに壮健かつ意欲的で職務に耐えられる場合はこの限りではないとした。この選考基準を受けて、府会で４名、市会で１名の議員が惜しまれつつ勇退されることになった。今回勇退される議員は、議長、党幹事長を経験された方が多く、自民党の党勢拡張、府政、京都市政の発展に大きな貢献を果たされた。全員選挙も強く、しかも元気で、議員として、まだまだ十分に働ける方ばかりである。しかし、余力がある内に優秀な後継者にバトンを渡すべきだとして勇退を決意された。そのほかに京都市会では中堅２名が体調不良を理由に今期限りで、引退することになった。

府議会議員　**小林弘明**氏
府議会議員　**坪内正一**氏
府議会議員　**家元丈夫**氏
府議会議員　**千歳利三郎**氏
京都市会議員　**田中セツ子**氏
京都市会議員　**巻野渡**氏
京都市会議員　**加地浩**氏

違法献金で追い詰められた前原外相
外相辞任、ポスト菅から脱落

「政治とカネ」の問題で自ら墓穴を掘った鳩山由紀夫氏の後を引きついだ菅首相。一貫しない安全保障政策、財源なきバラマキ政策に包まれた23年度予算、小沢一郎氏への曖昧な処分などで、もはや退陣は必至といわれている。ポスト菅の最有力候補に挙げられていたのが、前原前外務大臣。最近の世論調査では、次期首相候補のトップに位置していた。しかし好事魔多し。順風満帆で世の中を謳歌しているかのような人間にもある日、突然降って沸いたような災難が身に掛かってくることがある。３月４日、参議院予算委員会で西田昌司参議院議員から、京都市山科区在住の在日韓国人から違法な献金をうけとっていたことを指摘され、前原氏本人もあっさりとそれを認めた。政治資金規正法では外国人から政治資金を受け取ることは禁止されている。故意の場合、返金だけでは済まず、公民権停止処分まで発展する。本人が自発的に辞任しない場合、参議院で問責決議される可能性が大きかった。菅首相は最後まで前原氏をかばっていた。前原氏は辞任したが、任命権者としての菅首相の責任問題も出てくる可能性が高い。国会情勢は日に日に緊迫の度を増してきている。４月中旬解散、５月連休明けの総選挙になるのではないかとささやかれている。

身辺雑記

一、チュニジアから起こったジャスミン革命と呼ぶ民主化運動。たちまちインターネットを通じ隣国に波及し、独裁政権が次々と崩壊していく。長年にわたる独裁者の強権政治に対する民衆の不満、怒りのエネルギーの強さを思い知らされた。

一、ニュージランドクライストチャーチで地震の被害に遭った多くの日本人語学留学生の安否がいまだに判明しない。一瞬のうちにビルが崩壊するとは日本では考えられない。犠牲者に夢と希望に満ちた若者が多かっただけに一層気の毒な感じがする。

一、23年度予算案は、３月１日未明衆議院で可決された。予算の財源の裏付けとなる関連法案は先送りとなった。菅政権を見ていると今や末期的症状である。それもこれも衆議院選挙のデタラメなマニフェストの報いである。

一、今年は統一地方選挙の年。地方選挙の最大の選挙は東京都知事選挙。やっと石原知事が４選出馬を表明した。東京は日本の首都。石原知事を色々批判する人はあるが、知性、教養、風格からみて、東京都知事にふさわしい人物である。

一、冬が寒いのは当たり前であるが、今年の冬は特に厳しい寒さが続き、雪も多かった。雪は冬の風物詩であるが、今では都会も、地方も雪による被害が多い。長靴を履いて、膝まで積もった雪道をテクテクと小学校まで歩いた頃が懐かしい。

「日本真生塾」第７回例会のお知らせ

平成23年４月25日(月)　18時～21時

場所：**龍谷大学アバンティ響都ホール**
（京都駅八条口前アバンティ9F）
※東エレベーターからのみ上がれます

★４月から本格的スタート致します。
今後のテーマは「戦後の日本」について進めてまいります。
使用するテキストは、「骨抜きにされた日本人」（1500円）
★日本真生塾は塾生を引き続き募集しております。
★毎月１回の例会を開催

<お問い合わせ先>（担当：近藤）
事務局：右京区西院坤町２ハウスドゥ四条ビル6F
TEL：050-7544-4018
メール：nihonsinseijuku@yahoo.co.jp
ホームページを立ち上げました。日本真生塾 で検索してください。

日本真生塾　塾長　**岡本幸治**

「えとす」購読のお願い

月刊誌「えとす」は
毎月一回の発行です。

毎月ご希望の方は、郵便口座振替にて、ぜひお申し込み下さい

年間購読料　1200円

郵便振替口座 01000-4-62360
口座名：みんなで政治を考える会

── お問い合わせ先 ──
二ノ湯さとし事務所
電話　075-315-2228

ホームページを開設いたしました
http://www.ninoyusatoshi.com

「新政経懇話会」入会のお願い

「新政経懇話会」では、機関紙「えとす」の発行をはじめ、二ノ湯さとしの政治活動をご支援いただける会員を募集しております。

是非、二ノ湯さとしの政治理念と主張にご賛同いただき、ご入会下さいますようお願い申し上げます。

新政経懇話会　年会費　１万円

入会申込・お問い合わせ先
二ノ湯さとし事務所　☎075-315-2228